

## 2024年の京都・大阪・奈良～北陸のさくら探訪の旅 その3(福井)

山本 雅晴

4月3日 AMに近鉄奈良駅 → 京都、JR京都駅から湖西線で敦賀に昼前に着いた。風雨が強く、観光は諦めた。おまけに屋内の観光施設も水曜日で休館！ やむなく気比神宮や西福寺を廻るコミュニティバスで一回りすることにした。天候も悪く、街中も陰鬱に感じられた。久しぶりの金ヶ崎のさくらも見れなかった。

4月4日は早めに福井へ在来線でも45分程度なので行くことにした。福井駅の出札でトラブッタ！ JRの在来線ではなく第三セクターになっていたのだ！ 関西や東海からのアプローチは北陸新幹線のメリットどころかデメリットであることを実感した。

福井に着くころには天候も回復してきたので、まだ訪れたことのない「一乗谷朝倉遺跡」に行くことにした。ここは50年ほど前に発見・調査・復元がなされた、朝倉氏五代(1471～1573)の城下町の遺構がほぼ元通りに再現されている貴重な遺跡らしい。現地のボランティア・ガイドの説明などを聞きながら約2時間、咲き始めた糸さくらが点在する遺構を散策した。なお、糸さくらは1568年にここを訪れた室町幕府の第8代将軍：足利義昭が詠んだ歌「もろ共に月も忘るな糸さくら年の緒ながき契と思はば」に由来する。



1. 一乗谷城下町・復原町並み



2. 復原された朝倉館跡の門など



3. 朝倉氏館の庭園跡の糸さくら



4. 湯殿跡庭園など

短時間で十分見れなかった。一乗谷朝倉氏遺跡博物館も時間をかけて見ないと理解できないのもう一度訪れる必要がある。今回は概要を見るにとどめることにし福井駅にもどって、福井城跡や足羽川堤防の桜を見ることにした。



・福井駅周辺では至る所に恐竜のオブジェがある。福井城跡と足羽川堤防の桜、約 200 段の階段：足羽神社



5. 福井駅前広場の恐竜のオブジェ



6. 福井城址の濠に架かる御廊下橋



7. 足羽川堤防の桜並木



8. 元越前藩の庭園「養浩館庭園」



9. 足羽神社の樹齢 380 年のしだれ桜